

## JSP参加学生体験記

国際教育交流「ジャパン・スタディ・プログラム(JSP)」に参加のダブリン大学トリニティカレッジ生の3人が、7月20日にプレゼンテーションを行い、1年間の成果を発表した。昨年9月から日本語学習を進めると共に専門科目を受講、日本人学生とも交流を深めた。3人が日本語で書いた体験記と指導にあたった先生方のコメントを紹介しよう。

年功序列と終身雇用制度について  
 サラ・ギル



▲ ゼミ仲間と一緒に(中央がサラ)

専攻はビジネスと日本語。指導の先生は奥村先生です。奥村先生はいつも親切に研究を手伝って下さいました。アシスタントは、斎藤達朗さん(4年次)。斎藤さんはいつも優しく授業中、分からないところをたくさん説明してくれました。

週に3回授業があったので本当に忙しかったです。火曜日はJSPのビジネスクラスがありました。毎週いろいろなビジネス分野のテーマについて話し合いました。新しい情報がたくさん

得られましたから本当に面白かったです。水曜日の授業では、日本の人事雇用についてたくさん重要な事実を学びました。特に私の研究のトピックは、年功序列と終身雇用なので、この授業は私にとってとても大切で、役に立ちました。授業以外では卒業論文のために研究を続けています。図書館には素晴らしい資料があります。金曜日は奥村先生のゼミ。一緒にいる学生たちはとてもきさくで、日本語が分からなくて困ると、いつも助けてくれました。また毎週違うグループが発表するので、楽しく面白かったです。私は日本でたくさんのご経験をしました。もちろん日本を訪れたことを決して忘れません。

### ●奥村経世経営学部助教授の話

昨年9月からサラ、ルス、ジュホンの3人のダブリン大学生が経営学部で学んできました。サラは私のゼミに参加し、熱心に勉強しました。3人とも日本語能力の向上、日本ビジネスの理解、日本ビジネスに関する卒業論文の準備と忙しいスケジュールに追われて1年を過ごしましたが、日本語力が伸びるにつれ専大生との交流も深まりました。帰国後は専大で学んだ成果を生かし、すばらしい卒業論文を仕上げ、卒業後はヨーロッパとアジア、特に日本との架け橋として活躍するグローバルなビジネス・パーソンになることを願っています。

「ハロー・キティ」の販売戦略学ぶ  
 ルース・ディロン



▲ アシスタントの岩崎さん(左)と

専攻はビジネスと日本語です。来日の大きな目的は、日本語を上達させることと、日本の文化を体験することでした。9月から翌年の3月までは、国際交流センターの日本語プログラムに参加。4月からは専門の授業を受け、論文の準備をしました。そして7月末には1年間の成果をもとに、プレゼンテーションを行い、「ハロー・キティ」のマーケティング戦略の成功について発表しました。キティは米国に住んでいた時に知り、大好きになりました。

た。指導の石崎先生のマーケティングの授業は、時々難しかったですがとても面白かったです。先生は親切に指導して下さり、アシスタントの岩崎明日美さん(3年次)が研究の手助けをしてくれたので、助かりました。石崎先生から渡されたマーケティングの記

事に関して、岩崎さんは翻訳を手伝ってくれました。最初は難しい言葉がたくさん出てきて大変でしたが、だんだんと分かるようになりました。この「ニュース専修」が発行されるころにはアイルランドに帰国しています。日本を離れるのは少しさびしいですが、この1年間はとてもいい経験でした。いろいろな人に助けていただいたことに心から感謝しています。ありがとう。

#### ●石崎 徹経営学部助教授の話

ルース・ディロンさんはもともとマーケティングや日本文化に興味があり、また日本へ留学した頃から「ハロー・キティ」を中心にキャラクター・ビジネスの研究をしたかったようなので、必然的に私が指導教員になりました。ルースさんには私のゼミナール(広告戦略研究)や授業(広告論)に参加してもらっていますが、分からない日本語をゼミ生に教えてもらうなど、学生同士助け合いながら学んでいる姿は、本当の意味での国際交流になっていたと感じました。

#### 本当の日本、若者の生活を体験 ジュ・ホン



▲箱根・彫刻の森美術館前で

中国人ですが、アイルランドから来ました。日本人のように日本語を話せるようになるため、日本で勉強し、1年が過ぎました。

専大での指導の先生は、経営学部の坂口助教授です。主な授業は財務管理論と外国書講読とジャパン・スタディーです。坂口先生のゼミにも参加しました。最初の頃は授業の内容が全然聞き取れず、ゼミでもクラスメートの発言が分からないし、自分の意見や感想を日本語で話すことが出来ませんでした。またゼミの授業が5時間もかかるのには本当にびっくりです。アイルランドでは、一般的に50分ぐらいです。しかし、国際交流センターの日本語プログラムに参加してからは、授業の内容が少し分かるようになりました。教科書やレジュメを読みながら予習や復習をすることができるようになりました。

レポートのために一所懸命頑張りました。

坂口先生はいろいろと指導をしてくださいました。本当にありがとうございます。それに、クラスメートからたくさんのことを手伝ってもらって、心から「ありがとう」と言いたいんです。今回の日本での生活はとても豊かで、勉強になりました。より一層、日本語を勉強し、上手になるのがこれからの私の大きな目標です。

本当の日本を理解し、本当の日本の大学生、若者の生活を体験するのが、一番重要なことだと思いました。

#### ●坂口幸雄経営学部助教授の話

私はジュ・ホンさんにとって厳しい指導教員だったと思います。なぜなら私は英語で会話ができるのにあえて許さなかったからです。ゼミ生は英語が話せない所以她が日本語を上達させるしかなかったですね。それが良かったと思います。4月からゼミ生として本格的に日本人学生とともに学習しましたが、熱心なので日本語と学力の伸びは大きかったです。ここまで身に付けた日本語を今後維持・向上してくれることを期待したいですね。

【ニュース専修2004年8月号10面】

## 「高校生のための英語学習法」

—英語の楽しさ知って—

「受験用ではなく、楽しみながら英語を学んでほしい」という趣旨で英語英米文学科主催「大学教員が教える高校生のための英語学習法」が、7月10、17、24日の毎土曜日に生田キャンパスで行われ、高校生約60人が参加した。初日は、LL実習室の最新機器を使いながら学習。3日間2展開の講義の中で6人の教員（第一日・田邊祐司、三浦弘、第二日・上村妙子、平田一郎、第三日・並木信明、ジェフリー・フリックマン）が、英単語の増やし方、リスニングのコツ、ライティング、英語の仕組みなどを分かりやすく解説した。

横浜市在住の水谷有里さん（聖ヨゼフ学園高）は「授業とは違った『英語学習』の楽しさを発見し、ますます好きになりました」と話してくれた。

【ニュース専修2004年8月号10面】

## 県内24高校から121人参加

専大北上福祉教育専門学校で体験入学



▲介護技術を体験する高校生

専修大学北上福祉教育専門学校(岩手県・村上榮校長)は、6月19日、「1日体験入学」を実施し、県内の24高校から121人が参加した。

体験学習では保育科が心理学体験と手遊び講習を、福祉介護科では介護福祉士についての講義と介護技術体験が行われ、参加者からは「保育士への志望動機がさらに高まった」「介護の心の大切さを実感した」といった感想が寄せられた。

高校側の要望に応え、9月4日には「第2回体験入学」が行われる予定。

【ニュース専修2004年8月号10面】

## 英語力をつける読書ガイド(4)

### 第4回「英文法離見」

田邊祐司(文学部教授)

『英文法解説改訂三版』(江川泰一郎, 金子書房, 1991年, 1,785円)

第1回では, スポーツの「素振り」に通じる音読の本を紹介しました。音読と「練習試合」(英語の使用)を繰り返すと, やがて自分の「あら」が見えてきます。大学1年当時の小生のあらは文法でした。

英検1級の先輩に相談すると, 「じゃあ, これやれよ。」といいながら, 出してくれたのが黄色のカバーの本書でした。やたら分厚く, 文字ばかりで, とっつきにくいというのが第一印象。「全体を通読し, 苦手事項から, すべてに精通する必要なし。小説を読むような感じで。」ということばを信じ, 早速とりかかりました。

すると, 不思議なことに本書にグイグイと引き込まれて行くではありませんか。なぜ「はまった」のかは記憶の彼方。例文の和訳がこなれていたからでしょうか(例: There was a large audience in the theatre.「劇場は大入りだった。」), それとも無生物主語の解説がよかったのか。

でも, 今はっきりいえるのは, 本書には「英語を使用する人」の視点があるということ。文法学習上の「机上知」を「実践知」へと転化できるような暖かい「まなざし」があるのです。それは著者の米国での苦闘とは無縁ではないでしょう。

この本のお陰もあって, 1年も経つと, 英語を使うときの自分の後ろにもう一人の自分(?)を感じるようになりました。その自分は「よしよし」「あっ, そこは違う」と語ってくれるのです。

ずっと後になってから, 能の世阿弥による『風姿花伝』に「離見の見」(演じる自分を離れたところから見る自分)ということばに出会い, 思わず膝をたたきました。以降, 私は尊敬の念を込め, 本書を「英文法離見」と密かに呼ばせてもらっているのです。

【ニュース専修2004年8月号10面】